

寄り添い支援レター Vol.4

暑さも厳しかった今年の夏でしたが、連日エアコンが使われた方も多かったのではないかと思います。
この暑さに加えてコロナ感染拡大の収束は見通せないまま、我慢の生活を余儀なくされておりますが、ここはワクチンや感染対策の効果を期待し、1日も早く日常生活がもどってくるよう祈るばかりですね。
さて、これまでの活動報告として、寄り添い支援レター Vol.4 を発行いたしますので、ご参考にいただければと思います。

1. 第2回身元保証、生活支援等セミナーを順延いたしました

2021年8月24日(火)、ふれあいランドにおいて、標記セミナーの開催を予定しておりましたが、岩手県緊急事態宣言の発出により、順延をすることといたしました。
次回開催につきましては、コロナ感染状況を鑑み、再度ご案内申し上げますので、何卒宜しくお願いを申し上げます。

2. 寄り添い支援サービスのFAXにてのご相談を承っております

身寄りない方のお困りごとのご相談について、FAX・お電話等で承っております。
別紙にて **FAX.019-681-3664** までお送りください。
お電話の場合は **019-681-3663** まで。

3. 当会会員の西山廉さんが岩手日報にご自身の体験を投稿されました

当会会員である盛岡市松園に在住の西山廉様(89歳)が、岩手日報9月1日付の『ばん茶、せん茶』欄に投稿されました。投稿記事を要約しますと概要は次の通りでしたので、ご紹介いたします。

- ① 夫婦のどちらかが自立困難になることを想定し、当会に入会した。
- ② その後、妻の持病の足が悪化し、緊急入院になり、自分はその日から独居老人となった。
- ③ そして、これまで当会より献身的な支援を行っていただいた。(弁護士・公証人面談、銀行手続き、病院の入退院、施設の手続き、自宅の片づけと転居、食事の手配等)
- ④ 自宅での生活は困難と判断し、老人ホームに夫婦で入居ができた。
- ⑤ 妻の認知能力が低下してきているが、自分なりに準備をしてきて良かったと思っている。
- ⑥ あとは、死後のことをお願いしているが、当会に感謝をしつつ、心静かに余生を過ごせれば幸いである。



投稿ありがとうございました。



4. 当会の新しいパンフレットが完成いたしました。

当会の新しいパンフレットが完成いたしました。
送付ご希望の方は **019-681-3663** まで。



5. 相続人の調査の必要についてちょっと考えてみましょう

遺言をどうしようか?と悩んでいる方もおられると思います。一体自分の法定相続人はどうなっているのか、あらかじめ調べておくこと遺言手続きの確認にもなります。相続人調査を担当している弁護士の松岡佑哉先生より「相続人の調査の必要性やその意味等について」資料をいただきました。
資料をご希望の方は **019-681-3663** まで。



6. 最近の緊急支援を行った事例報告です

73歳、女性、独居の生活。偽痛風による関節痛がありましたが、朝に激しい痛みにより起き上がることができなくなったため、当会に支援の電話が入りました。
早速自宅に駆け付け、救急車を要請し病院へ搬入となりました。病院の診察結果は、入院の空き部屋もないことから、当面痛み止めで対応するしかないとのこと。しばらく薬の効き具合による痛みの緩和を確認後、介護タクシーで自宅に帰宅することとしました。そもそも板の間に地べたで座る生活であったことから、足関節などへの負担が大きくなっていたため、ソファの購入と介護保険サービス利用によるベッドのレンタルを担当のケアマネージャーさんをお願いしました。
今後、自立の生活がどの程度可能かどうか、担当のケアマネージャーさんとも相談し、施設利用も含めて支援策を検討していくことといたしました。

お問い合わせは下記までお願いいたします。

〒020-0851
盛岡市向中野7丁目1-36 グレース向中野102号
一般社団法人 もりおか架け橋の会
TEL. 019-681-3663 FAX. 019-681-3664
〈受付〉月～金 9:00～17:00 (土日祝日休み)